


●ガバナー 佐々木 千佳子 ● 会長 米内 安芸 ● 幹事 吉田 賢治 ● コミュニケーション委員長 大橋 央雅
ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp
Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/
 Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。
RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 2040 回 例会 記録

《会員卓話例会》
2017 年 11 月 2 日 (木)
点鐘 12：30
レポート No. 1472

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



久保田職業奉仕委員長

《会長要件》米内会長



本日は黒田先生の RI から見た戦略計画のお話をいただくことになっております。卓話ではなくご講演だと思っております。

そこで、今日は RI 理事のことについてお話ししたいと思います。RI 理事について

次のように記されています。「RI 理事会の議長である RI 会長と RI 会長エレクトが理事会のメンバーで、その他 17 名の理事が全世界の 34 ゾーンその他から RI 理事細則に基づき地区ガバナー経験者の中から指名、国際大会で選挙される。各理事は、ロータリーの管理において全クラブを代表する責務を負う。任期は 2 年。」ということになっています。私たちのクラブから RI 理事という凄い役職に就いたメンバーが選出されたことは、私たちにとっても本当に恵まれたクラブになったということでもあると思います。そしてそれが、どこでも、いつまでもついて回るという幸運でもあるということを感じております。

昨夜の指名委員会でも RLI (ロータリーリーダーシップ研究会) が日本で初めて黒田先生主導で我が地区で行われたという話も出ました。今日は、贅沢な時間を楽しませていただきたいと存じます。

《出席報告》田守副委員長



正会員数 38 名。本日の出席は免除会員 5 名を含む 25 名。出席率は 69% です。前々回の例会は、メーキャップ 2 名、出席率 65% でした。



西村会員

《幹事報告》吉田賢治幹事

・理事役員会報告



○12 月のプログラム、12 月 7 日 (木) クラブ年次総会、12 月 14 日 (木) クリスマス家族例会、詳細については追ってご連絡いたします。12 月 21 日 (木) 任意休会、12 月 28 日 (木) コーヒー例会です。ご都合の良い方は参加してください。

○アクトの翼について八高 IAC から 1 名参加希望があり承認。

○南浦項訪問のお祝い及び翻訳料について承認。

・インターアクト年次大会の報告書が届いています。

《本人誕生日》

《配偶者誕生日》



吉田賢治会員



橋本会員



熊谷会員

《結婚記念日》



米内会長



小原会員



伊藤会員

《ニコニコボックス》西尾委員長

米内会長：黒田先生今日はよろしくお願ひします。

橋本会員：妻、敏子が本日新聞に載りました。

西村会員：黒田先生、お話を楽しみにしています。



本人誕生日：吉田賢治会員

配偶者誕生日：橋本会員、熊谷会員

結婚記念日：米内会長、小原会員、伊藤会員、西村会員

《国際奉仕委員会》吉田（立）米山担当副委員長

本日黒田会員より「米山財団創立 50 周年を記念して寄付します」とのお言葉を添えて多額の寄付をいただきました。黒田会員ありがとうございました。

《会員卓話》黒田会員



今日の卓話は米内会長より 1 年前からクラブの皆さんにクラブの戦略計画を立てるにあたって基礎的なことを RI 戦略の立場から説明してほしいということと言われていましたので短時間ですが責任を果たしたいと思います。内容としては RI の戦略計画はどうして出来てきたか、その理由を述べて、それから出来てきた RI 戦略のポイントだけ述べたいと思います。それをクラブレベルに落として RI ではクラブレベルとしてどのように進めてもらいたいのか、実際に私も八戸南の会員としてこういうのはどうでしょうかと、個人的な意見も述べさせていただき、最後に RI の全体の大きな流れから見て戦略計画ははどのような風に進んでいるかということの説明したいと思います。

「RI からみた戦略計画」

例会卓話 2017. 11. 2 黒田正宏

1. RI 戦略計画がどうしても必要だったか？

- ①世界的に会員数の停滞が続く。
- ②毎年リーダーが交代、奉仕活動の持続性を維持。
- ③ロータリーにとっての地図、活動指針を。
- ④ボランティア団体がたくさんある中で、公共イメージ向上。
- ⑤国際ロータリーとロータリー財団の統合化が必要。
- ⑥人道的奉仕プログラムの焦点を 6 つに絞り、時間と財源の運営効率化。
- ⑦2006 年頃から財団の「未来の夢計画」を準備。もっとわかりやすく、利用しやすい財団に。
- ⑧2010 年から具体的な「RI 戦略計画」を発表。
- ⑨3 年毎にアンケート調査や評価をして、全体の内容を見直す。

2. RI 戦略計画の内容と問題点

- ①ロータリーの中核的価値観を定める。5 つの言葉に。
- ②戦略計画の中の目標として、ロータリーに合った 3 つの優先項目を柱に。その中に合計 16 の目標を決める。あくまでもクラブの活性化が基本。ロータリーの持続性が目標。
- ③職業奉仕の位置づけで RI と日本のロータリーのずれ。
- ④RI 戦略計画推進のリーダー：地域のコーディネーターはゾーン 1、2、3 に各ロータリーコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、ロータリー公共イメージコーディネーターらと、その補佐が指名されている。ガバナーには地区戦略計画の作成・実施・再検討の責務がある。クラブが戦略計画を作成・実行するようお願いする。

3. 「クラブの戦略計画」の作り方(全員参加型が原則)

- ①基本は RI からのトップダウンである。しかし、各クラブが地域やクラブの多様性を尊重して、柔軟性をもって、自主的にクラブの現状を分析する。クラブの棚卸、アンケート調査などを参考に。

②規定審議会の結果を検討。クラブ細則の修正。

③会員研修や地区 R L I 参加。

④クラブのビジョン作成。

⑤計画立案はクラブ理事会、戦略計画委員会、クラブ理事会、クラブ協議会、クラブ理事会を経る。クラブ全体の委員会構成は重要。計画の実施をする。

⑤年度内にクラブの活性化につながったかどうかを評価する。次年度にバトンタッチする。

4. 八戸南 RC へ会員の一人として提案

- ・クラブ活性化の維持工夫。
- ・奉仕活動のマンネリ化がないか。
- ・会員親睦を深めるためには現状のままでよいか。
- ・会員増加・維持対策方法。
- ・会員やクラブは「My ROTARY」の利用。
- ・まずクラブ理事会がクラブ規定審議・戦略委員会に原案作成を依頼する。そのことを、例会で全会員に説明する。

5. RI と日本での今後の方向

①組織としての財政的な持続可能性と運営効率の向上に努める。

②2016-17 年の社会の問題や変化を外部卓話などで理解し、社会のニーズを知る。地域の特徴や多様性を知る。

自然災害の多発。日本では世界最先端の少子高齢化。小・中・高校生のいじめや自殺問題。企業の過重労働による自殺。大企業での相次ぐ不正問題。世界ではテクノロジーの著しい進化。貧富の極端な格差。難民問題。地球温暖化対策、平和と紛争予防・解決など。

③将来のロータリーについて明確なビジョンを持つ。クラブはロータリーの心臓である。RI は草の根レベルでクラブを支援し、ロータリーの文化を守り、多様性を尊重して、地域別のロータリー運動を支援する。

④発想を変えよう。

例：企業に求められる役割が変化している。良い商品やサービスを提供する。製造、販売、働く場所を提供するだけでなく、環境、貧困、健康などで社会貢献することを買入手や社会から求められる時代。

事例：インドの CSR と R 財団。

⑤会員やクラブは「My ROTARY」利用会員を増やす。

⑥例会出席を重視するか？地域での奉仕プログラム参加を重視するのか？会員への特典を重視するか？これらのバランスをとるのか？

⑦RI で新しい戦略計画を立案する。

⑧2017 年 COL の決議審議会に日本の地区から提案予定。

「ロータリーの目的」等の「ロータリーの理念」と「RI 戦略計画の中核的価値観」との整合性をとるように日本の地区から提案予定。しかし、私は「戦略計画はロータリーの理念そのものではなく、あくまでも変化する社会への現実的対応である」と思う。

⑨親睦と奉仕と国際理解と会員維持を目指して、変化への挑戦を。